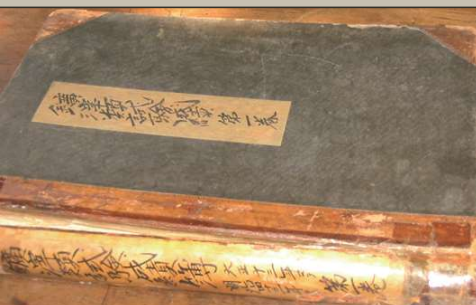
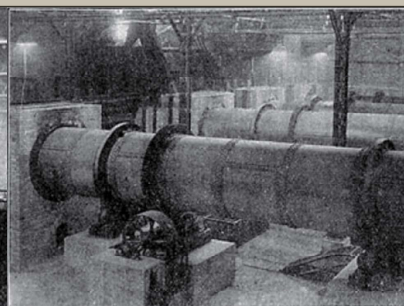
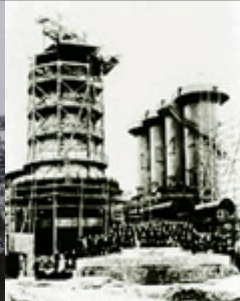
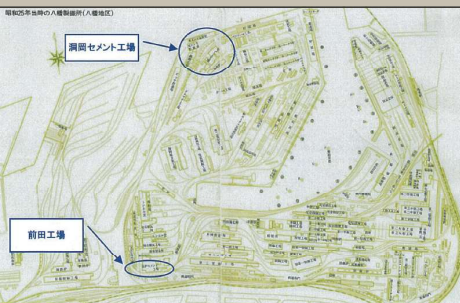
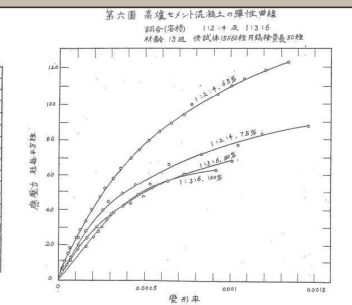
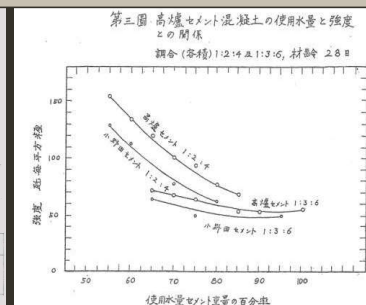


八幡製鉄所と高炉セメントの歴史

[illegible]

鉾津の利用は唯々副産物として利益あるのみならず亦た間接に大なる便益あり。其理由は鉾津は其量甚だ多くして之を捨つる多くの費用を要するが故に若し之を有益に処理するに於ては、其れ一挙兩得の策にして之が利用の拡張を講究するは将来極めて重要な事項なりとす。

野呂景義：本邦製鐵事業の過去及未來，鐵と鋼，1914（大正3）

高炉セメントの歩みと当社の沿革

1709年	[英] A.Darbyがコークスを用いた鉄鉱石の製錬に成功
1824年	[英] J.Aspdinがポルトランドセメントの製造方法を発明(特許取得)
1853年	[英] Cunninghamが水砕スラグの製造に成功
1858年(安政5)	盛岡藩・大島高任が日本初めての近代高炉による出鉄に成功
1862年	[独] E.Langenが水砕スラグの水硬性を発見
1866年	[独] G.Lurmannが水砕スラグを利用した鉄滓煉瓦を製造開始
1875年(明治5)	官営・深川セメント製造所で日本初めてのセメント製造に成功
1882年	[独] G.Prussingが混合粉碎式の高炉セメントの製造に成功
1894年(明治27)	日清戦争(～1895)
1901年(明治34)	官営・八幡製鉄所 東田第一溶鉄炉の操業開始
1902年	[独] H.Passowが水砕スラグの水硬性覚醒にアルカリ刺激の必要性発見
1907年(明治40)	八幡製鉄所に鉄滓煉瓦工場を設置
1910年(明治43)	セメントに水砕スラグを利用する研究および試験製造の開始
1913年(大正2)	高炉セメントの製造、販売開始
1918年(大正7)	八幡製鉄所に前田セメント工場が操業開始(～1957)
1923年(大正12)	関東大震災
1925年(大正14)	高炉セメントが規格化(商工省告示第5号)
1934年(昭和9)	官民の製鉄合同により、日本製鉄(株)八幡製鉄所が発足
1936年(昭和11)	洞岡セメント工場が操業開始(～1961)
1941年(昭和16)	太平洋戦争(～1945)
1943年(昭和18)	セメントの規格改正(臨時日本標準規格第149号)
1949年(昭和24)	高炉セメントの規格制定(JIS R 5211)
1950年(昭和25)	日本製鉄(株)が解体、八幡製鉄(株)が発足
1956年(昭和31)	八幡製鉄(株)から化学・セメント事業が独立し、八幡化学工業(株)が発足
1958年(昭和33)	小倉セメント工場が操業開始
1970年(昭和45)	新日本製鉄化学工業(株)に社名変更
1971年(昭和46)	セメントキルンのS P化が開始
1978年(昭和53)	高圧噴射式による高ガラス化率の水砕スラグの製造方法を開発(特許取得)
1984年(昭和59)	日鐵化学工業(株)と合併し、新日鐵化学(株)が発足
1988年(昭和63)	産業廃棄物処理業許可を取得
1995年(平成7)	高炉スラグ微粉末の規格制定(JIS A 6206)
1999年(平成11)	新日鐵化学(株)から独立し、新日鐵高炉セメント(株)が発足
2012年(平成24)	日鉄住金高炉セメント(株)に社名変更



新日鐵住金グループ

日鉄住金高炉セメント株式会社

NIPPON STEEL & SUMIKIN BLAST FURNACE SLAG CEMENT CO.,LTD.

〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地

企画管理部	☎ 093-563-5100	石灰事業部	☎ 093-563-5118
営業部	☎ 093-588-1052	SL事業部	☎ 093-563-5118
品質保証部	☎ 093-588-1051	技術開発センター	☎ 093-563-5103
生産設備部	☎ 093-563-5104		
セメント工場	☎ 093-563-5101		